

北海之光

1月号 北海道教区報

主はわたしたちに道を示される
わたしたちはその道を歩もう

イザヤ書2章3節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp

http://www.nssk-hokkaido.jp

発行人 笹森田鶴

『神の与えられる平和』

北海道教区

主教 マリア・グレイス

笹森田鶴

神の家族の皆さまに主のご
顕現のお祝いを申し上げます。

さて、今年の北海道教区の
宣教標語は、イザヤ書二章三
節より「主はわたしたちに道
を示される。わたしたちはそ
の道を歩もう」、聖書日課A
年降臨節第一主日で朗読され
る箇所となりました。教区聖
歌は四八七番です。
紀元前八世紀、アッシリア
帝国はその鉄製武器や戦車の
技術革新によって世界を席卷
していました。アッシリアの
平和と呼ばれる時代です。す

でに北イスラエルは帝国に滅
ぼされ、南ユダは自国の防衛
方策を決定しなければならな
い事態となりました。そ
のような折り、イザヤは終わ
りの日に神の与える平和を預
言します。

イザヤは語ります。その時、
主の神殿の山は他の山々の
頭となって高くそびえ立ち、
国々の民はその山に向かって
大河が勢いよく流れるように
集まって来ます。主の神殿の
山、主の教えが語られるシオ
ンは、決して高くも目立つ場
所でもありません。けれども

その教えにこそ力があり、世
界に神の正しい裁きと平和を
もたらす言葉が神の臨在の場
所から語られます。人々はその
山に向かって巡礼し、神は
人々を導きます。

神は、アッシリアのように
武力によって人を支配するこ
とはなさいませぬ。もはや人
間の武器は打ち直され、剣は
鋤となり、槍は鎌となります。
全世界は剣によって戦うこと
を放棄するのです。それが神
の与える正しい世界の平和だ
からです。ほぼ同じ言葉がミ
カ書四章一節以下に繰り返さ
れ、続く五章一節以下ではマ
タイ福音書二章六節に引用さ
れるメシア預言へと継承され
ていきます。この武力放棄の
方法によって、今も神は世界
に絶対的な平和をもたらそう
とされています。
今年の宣教標語は、「その

道を歩もう」という呼び掛け
です。それはわたしたちも戦
うことを学ばない、神の平和
へと進む決意の道です。そし
て戦わないわたしたちは、神
がこの世界の誰に目を向け
て働かれているかを、聖歌
四八七番で社会に宣言しま
す。それは重荷背負う人であ
り、嘆きいたむ人であり、力
尽きた人です。重荷をともに
背負い、涙を拭い合い、励ま
し支え合う関係を人と人との
間でも実現していくように
と、神は招いています。

来年宣教一五〇年を迎える
北海道教区の宣教方策また方
向性にもつながる、大事な宣
教標語と聖歌が与えられました
。感謝をもってこれらの聖
句や聖歌を何度も繰り返しな
がら、今年も力強くご一緒に
歩んでまいりましょう。

第二世紀宣教 二〇二三年

主はわたしたちに道を示される
わたしたちはその道を歩もう

イザヤ書二章三節

日本聖公会北海道教区

北海の光761号

小樽聖公会

クララ 高橋 愛 書



—心の窓をひらく—

福音と私(二六五)

今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか

函館聖ヨハネ教会信徒

アブラハム 山崎 七夫

「私の好きな聖句」

だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。

(ルカ 一四章一一節)

私は今金の神丘の出身です。私の祖父が開拓に入った土地です。キリスト教信者が多く、私の先祖もキリスト教で、親兄弟はみんなキリスト教の信者です。私も子どもの頃は教会に行ったり、クリスマスになると劇をしたりして祝っていました。高校卒業後、函館に出たからは教会に行くこともなくなりました。函館では、船の電気設備の仕事につき、朝から晩まで働きました。その時のモットーは、約束事は必ず守る、つまり、納期は必ず守るということで、時には徹夜で働くこともありました。結婚して妻は社長の奥さんと一緒に職人さ



私たちの食事を作ったりして、みんなからお母さんのように慕われました。函館の港がにぎわっていた頃は、仕事も付き合っても忙しく、毎晩飲んで帰ってきて、家のことはすべて妻に任せ、まるでシングルマザーのようだったと言っています。二人の男の子に恵まれ、今金から母が出てきた時に小さい子どもを連れて教会に行きましたが、子どもがうるさくして皆さんに迷惑をかけました。また、母が病気で亡くなったあとは教会に行かなくなりました。家では、父と母の写真をかざり、十字架をおき、妻が毎朝お水をあげ、お花を飾りました。頂き物をする時写真の前に供え、手を合わせる。仏教だった妻は実家で仏壇にしていたことをしたんだと思います。

感謝 北海の光献金(敬称略)

長男は函館の高校でラグビー選手となり、花園まで行くほどでした。しかし四〇歳代で癌にかかり、余命三年と言われ、何度も入院を繰り返しました。痛みも激しく、最後に入院した一二月にはお正月を迎えられたらいいですね、と言われ、呼吸も荒く、妻と二人で寝ずの介護をしました。そんな中でいろいろ考え、長男が亡くなる前に洗礼をうけさせて送り出さなければと函館の教会の藤井司祭様にお願ひしました。するとさっそく病院に来てくださいました。それまでは呼吸も荒く、しばしば無呼吸にもなり、本当に心配でしたが、お祈りしていただき、洗礼をうけたら呼吸も静かになり、苦しむことも少なくなりました。亡くなるその日も、朝から静かでしたが、手足が冷たかったので妻が息子の手、私が足を擦っていた時、看護師が来て、そのすぐ後に担当医が来て、一二時五分に息を引き取りました。本当に静かで、いつもを引き取ったかわからないほど安らかに旅立ちました。

長男は函館の高校でラグビー選手となり、花園まで行くほどでした。しかし四〇歳代で癌にかかり、余命三年と言われ、何度も入院を繰り返しました。痛みも激しく、最後に入院した一二月にはお正月を迎えられたらいいですね、と言われ、呼吸も荒く、妻と二人で寝ずの介護をしました。そんな中でいろいろ考え、長男が亡くなる前に洗礼をうけさせて送り出さなければと函館の教会の藤井司祭様にお願ひしました。するとさっそく病院に来てくださいました。それまでは呼吸も荒く、しばしば無呼吸にもなり、本当に心配でしたが、お祈りしていただき、洗礼をうけたら呼吸も静かになり、苦しむことも少なくなりました。亡くなるその日も、朝から静かでしたが、手足が冷たかったので妻が息子の手、私が足を擦っていた時、看護師が来て、そのすぐ後に担当医が来て、一二時五分に息を引き取りました。本当に静かで、いつもを引き取ったかわからないほど安らかに旅立ちました。

心臓にモニターをつけていたので、ナースステーションではすぐにわかるようになっていたのだと思います。そばにいた私たちにはわかりませんでした。二〇一一年一月二十五日に亡くなり、通夜、葬送式と函館ヨハネ教会の大勢の信徒の方々にお世話になりました。みんなで祈り、聖歌を歌い、オルガン奏楽もあり、キリスト教の葬儀に感激しました。高校の時の友達もたくさんきて、天国へ送り出すことが出来ました。

長男の跡片付けをしているうちに三か月たちました。今まで親の言いつけも聞かず、仕事に明けられて過ごしてきた私は罪な男だと思いました。先祖、亡き両親、兄弟、息子、妻に謝り、息子の死にかかわって、息子が私たち夫婦に受洗するきっかけを作ってくれたのだと思いました。そしてその年のイースターに妻と共に洗礼を受けることが出来ました。すべて神様に本当に感謝しています。

次男は千葉県の市川に住んでいました。長男の死後二年

ほどして、私は親不孝をしてきた自分を振り返り、次男には「俺のようになるな」とありのままの気持ちを話す機会がありました。次男も私の気持ちを理解し、家族そろって受洗しました。「日曜は教会に行くものだ」と次男は孫たちに伝えたいと思っているようで、中学生になり学校が忙しくなっても家族で市川の教会に行っているようです。

私は今八八歳になりました。肺の病気を患っておりませんが、酸素ボンベのおともを連れて、妻と一緒に毎週礼拝に出席できることはとてもうれしいことです。何かあれば手助けする、苦しくてもやる範囲です、ということもいつも思っています。教会の庭仕事をする、教会のみなさんと会ってお話することとは本当に楽しく、うれしいです。はやくコロナがおさまって、もつと皆さんと交わることが出来るようになることを願っています。まだまだがんばりたいです。

常置委員会報告

第二回 二月八日

《協議事項》

一、教区会の振り返りを行った。
 二、「東北教区・北海道教区宣教協働タスクフォース」のメ

山影 静子(大阪市)
 大野和哥子(宝塚市)

ンバーに、大町信也司祭、大友宣さん、吉谷かおるさんを選任した。
 三、オーストラリア聖公会リベリナ教区との教区間交流について検討した。
 四、聖マーガレット教会が駐車場隣地を取得することを承

認した。
 五、永谷司祭の管区祈祷書改正委員としての台湾出張を承認した。
 六、谷本靖子さん(聖ミカエル教会信徒)よりの遺贈献金の受け入れについて協議した。
 七、小西美智代さん(札幌キ



主教室から

東北生まれの東北育ちでも、北海道の冬はさすがに想像を越えています。北海道に住んでいらつしやる方にとっては当然の生活の知恵が、驚くほどわたしにも夫にもないのです。身支度もさることながら、雪の時期には車にスコップや雪用長靴、毛布などを搭載するとは思いませんでした。そのような具合ですの

路や歩道がたった一晩で一面真っ白に変化する様子にただただ驚き、岩見沢では園バスが出られなかったと伺い、それぞれの教会や園での除雪のご苦労にも少しだけ触れました。クリスマス寒波では、ことに紋別が豪雪のために幼稚園が休園となり、その後全市が停電し、越山健蔵先生が二日間も避難所生活を余儀なくされました。停電は災害です。寒さも心配しましたし、その後の電気や道路の復旧があつて安堵いたしました。が、何より驚いたのは、それらの大変さは大変さで、次の日は普通に皆さん生活しているというこ

ただいているようでした。この北の大地に点在している教会・伝道所で、聖職や信徒の皆さんが礼拝前の除雪に汗を流し、訪れる方の足を守り、コロナとも闘いながら教会の営みを続けてくださっていることは、皆さんにとっては当然のことかも知れませんが、それ自体すばらしい宣教活動であり、大きなことです。感謝できありません。
 この原稿を皆さんが読んでいらつしやる頃にはもつと寒く雪も多くなっているかも知れません。教会の行き帰り、また普段の生活の中でも、どうぞくれぐれもお気をつけてお過ごしください。皆さまのために祈っています。わたしも美しい冬の北海道の季節を楽しみながら過ごします。

義 マリア・グレンス 笹森 田鶴

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

二月九日(水) 午前10時30分

於 主教座聖堂
 執事 桑山 隆
 司祭 小貫 雅夫
 二〇二二年二月六日
 司祭 ハリー・W・ハンセン
 一九九六年二月八日
 執事 細矢 勝司
 二〇一九年二月九日
 司祭 長澤 義正
 一九六一年二月二日
 伝道医師 ウイリアム・ウリス
 ロイ・コルバン
 一九一五年二月二〇日
 司祭 向井 山雄
 一九六一年二月二四日
 伝道師 田村 均
 一九七八年二月二六日

リスト教会信徒)よりの遺贈について協議した。
 八、管理教会出張時の宿泊費・出張旅費の算出方法を変更することとした。
 九、人事異動について主教からの諮問を受け検討した。

* * *

今年の「聖歌」について 司祭 グレゴリー 松井 新世
 今年の宣教標語は紀元前八世紀、預言者イザヤに示された幻・神の言葉から採られている。イザヤの時代は激動の時代で、民も国も地に足がついていなかった。その中で、イザヤが神の幻を伝えるのが宣教標語。その直前の「主の山に登り、ヤコブの神の家に行く」という一節は「エルサレム」を指すが、教会とも言い換えられる。そこで「主の道を歩む」という幻が与えられた。先が見えないこの現代、まさに私たちに与えられたみ言葉とも言える。教区聖歌は四八七番「重荷背負う人」。イザヤの終末的な神の平和の思いが語られている中、その具体的な「平和」が示されている。一節「重荷背負う人」には「神がその荷をにな」い、二節「嘆き痛む人」には神が涙を拭われ、と、私たちはこの四節「もつれた世界をときほぐし新たな道ともに行」くという導きを与えられる。

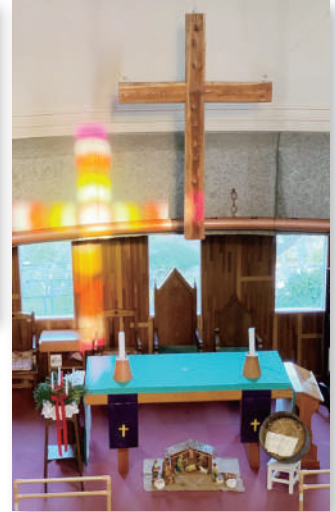




▲北見聖ヤコブ教会 主教巡回とクリスマスの合体!



▲岩見沢聖十字教会
クリスマスイブ礼拝集合写真



▲函館聖ヨハネ教会



▲釧路聖パウロ教会



▲厚岸聖オーガスチン教会(伝道所)



▲今金インマヌエル教会



▲札幌キリスト教会 ささやかではありますが、3年ぶりにイブ礼拝でページェントを行うことができました!



▲深川聖三一教会
現代の12使徒イブに集う



▲札幌聖ミカエル教会 聖夜



▲新冠聖フランシス教会
顕現節まではクリスマスツリー飾っております



▲新札幌聖ニコラス教会 クリスマス礼拝後の集合写真



▲聖マーガレット教会
クリスマス・イブ礼拝の集合写真



▲帯広聖公会 管区事務所総主事エッセイ矢萩新一司祭をお迎えしてのクリスマスイブ礼拝

写真で見る2022 クリスマス光景

北海道教区 23教会



▲小樽聖公会 降誕日礼拝



▲苫小牧聖ルカ教会 25日主日礼拝後



▲網走聖ペテロ教会
光に包まれた
16名のクリスマス



▲旭川聖マルコ教会 降誕日聖餐式



▲紋別聖マリヤ教会 礼拝堂



▲有珠聖公会
聖堂に満ちる会衆で、降誕日礼拝を捧げる



▲留萌キリスト教会 25日降誕日聖餐式



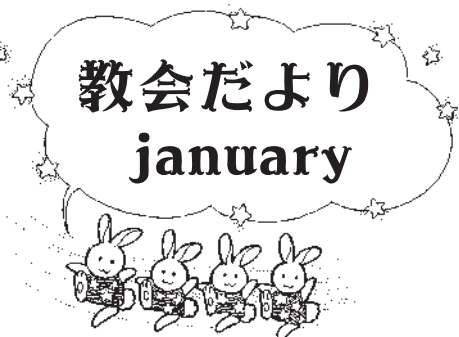
▲室蘭聖マタイ教会



▲平取聖公会 クリスマス



▲稚内聖公会 (伝道所)



▽旭川聖マルコ教会

コロナ禍で迎える三度目のクリスマス。コロナ禍でも旭川にはいつも通りの厳しい季節がやってきます。今年こそはと思っていました。今年こそはの影響で祝会などは断念せざるをえず。そんな中でもアドベントの学びの集いがごちんまりと開かれ、笹森主教のご参加を頂きました。感謝。集うことがかなわない、いろんな思いを今年もメッセージボードに託しました。来年はみんな元気に集まりますように。早く戦争が終わりますように。永谷司祭を迎え始めてのクリスマス。蠟燭礼拝用のきれいな新しい式文を用意し

てくださいました。感謝。

▽岩見沢聖十字教会

一二月いよいよクリスマスシーズン。園では年長さんの聖誕劇、他の学年は祝会が無事に行われました。ある日、イケメンの長身サンタさん登場。皆大喜び。お近くの岩見沢シオンキリスト教会のメキシコ人の牧師さんでした。

二四日午前、笹森田鶴主教司式によるイブ礼拝。園の先生方も多く出席されました。

大晦日、一年の締めくくりは福音ラジオ放送ホレンコ「よろこびへの扉」。主教様のお話に耳を傾けました。

明日からは令和五年。主とともにいきましょう。

▽釧路聖パウロ教会

△厚岸聖オーガスチン教会 (伝道所)

一二月。年の瀬。何かと忙しい月。新しいキリスト教年も始まり、パウロ教会も忙しくなってきました。

懸案の駐車場擁壁工事が予定より一〇日程遅れで完了。また、頌栄保育園の建替え問題で釧路市との折衝に多少の進展があり、教会の建替え議

論も現実化してきました。

降臨節第三主日の一日には礼拝後、「教会問答あれこれ」の使徒信經の三位一体についてしっかりと勉強。

また、第四主日礼拝後にはクリスマスに備えて出席者全員で掃除を。関連スケジュールも発表され、二四日午前中厚岸オーガスチン教会伝道所でクリスマス礼拝。午後四時からパウロ教会でイブ礼拝、そして二五日は一〇時半からクリスマス総員礼拝ということに。

が、当日の朝、釧路地方は湿った大雪。釧路から何人も参加予定だったオーガスチン教会の礼拝は結局断念。

ただイブ礼拝には三〇人もの方々が。翌日の総員礼拝にも三十八人十五人の幼児が出席。祝会はないけれど素晴らしいクリスマスになりました。

▽帯広聖公会

降臨節第四主日は笹森主教様の司式説教でした。コロナ禍ですがお茶会でお話を聞くことが出来ました。イブ礼拝は雪による悪天候でしたが、ここだけはベツレヘムのお宿

に居るような雰囲気でも最高。

降臨日は管区総主事の矢萩新一司祭に司式説教を頂きました。式後は、お茶会でこれまた楽しいお話を聞くことが出来、その後、矢萩司祭は橋本委員のガイドで、帯広の二大ソウルフードの一方の旗頭である「インデアンカレー」に寄られた筈です。それにしても年末は恵まれた時でした。

▽稚内聖公会 (伝道所)

一二月二一日(水)、前日までの降雪による交通障害もなんとか解消されて、クリスマス礼拝をお捧げすることができました。礼拝後はお寿司を取ってささやかな祝会となり食事と歓談。旭川聖マルコ教会の皆さんのクリスマス聖歌のビデオと信徒の方のビデオレターに喜びを分かち合いました。木村夕子司祭はオンラインで参加。記念撮影は永谷司祭と本原さん、そしてタレットの中の木村司祭というユニークな構図となりました。また聖卓のダストカバーが新調され感謝です。

▽函館聖ヨハネ教会

今年のアドヴェントも英国

聖歌隊のキャロル礼拝のDVD鑑賞会に始まる。大雪の中

TVドラマPICUの撮影に協力。心温まるストーリーに協力出来た。イブは恒例のセント・ジョンズバー開催。多くの観光客をホットワイン等でもてなす。その後のキャンドルサービスでは三年ぶりに聖歌隊復活。短縮版式文、全員で歌う聖歌は減らすなど感染症対策にも配慮。参列者七〇人の八割以上が一般市民。二五日の礼拝も多くの観光客と共に聖餐式を捧げる。両日阿部芳克司祭に司式説教を頂く。二二日大寺稔さん逝去。二六日藤井司祭により葬儀が行われた。黒田結以さんオーガニストデビュー。

▽平取聖公会

クリスマスイヴキャンドル礼拝は二四日(土)午後六時から、クリスマス礼拝は二五日(日)午後二時から捧げられました。雪は少し降っていました。暖かな祝い日でした。

保育園の工事が進んで一二月一三日に内海牧師の司式で上棟式が行われました。棟に笹森主教が「信仰 希望

愛」と書かれた十字架が上げられ、工事の安全と園舎の完成が祈られました。

記者は一月に左ひざの部分人工関節置換手術をして一カ月入院し、現在温泉を利用してリハビリ中です。長い道の歩行もあぐらをかくこともできるようになり順調です。お祈りに感謝します。

▽聖マーガレット教会

二月二日、礼拝堂に二つめの逝去者板が設置され、笹森主教より祝福をいただく。成田保之さんの力作です。七日、グレイス朝井フサさんご逝去。突然のお別れに言葉が失いました。一日、み言葉の礼拝において、先月執事に接手された三浦先生より陪餐を受け、一八日には北星学園女子中学高等学校聖歌隊七名による奉唱が行われる。二四日のキャンドル礼拝と降誕日第一聖餐式には笹森主教にお越しいただき、婦人会が三年ぶりに焼き上げたパウンドケーキが振る舞われる。二五日は横山明光司祭司式、三浦執事の奨励で降誕日第二聖餐式。懐かしい再会に笑顔があ

ふれました。

▽札幌キリスト教会

二四日イブ礼拝では、子どもたちと青年たちによる降誕劇が三年ぶりに捧げられました。笹森主教様を迎えての降誕日礼拝には、百名以上の出席がありました。降誕日と日曜日が重なったこともあり、久しぶりに多くの皆さんと過ごすクリスマスでした。この日完成した創立一三〇周年記念誌が皆さんの手に渡り、歴史を刻み続けていることを実感しました。八日にエリサベツ千葉光江さん、一五日にマリヤ澤田平子さんをご逝去。一二月一日に病床で洗礼を受けた。魂の平安をお祈り致します。

▽札幌聖ミカエル教会

聖ミカエル幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行に伴って新園舎建築のため旧牧師館と旧国際青年寮を取り壊した後、牧師館について協議してきましたが、お隣の信徒宅を取得することとなり、契約に至りました。住居をその

まま牧師館として用いる目途が立ち、牧師館献金を募っています。日曜学校を含めた五つのクリスマス礼拝にはのべ二八〇名の出席、特にイブ礼拝は一〇〇名を超える人でご降誕を祝う。降誕日はシモン直井直樹さん、アンジェリカ船木聖奈子さんの洗礼式を行い二重の歓びに包まれました。去る一月三〇日、マリ

ア廣木昭子さんが急逝、交わり感謝するとともに魂の光明と平安をお祈りします。

▽新札幌聖ニコラス教会

二四・二五日は、総計二八名が会堂に集まりクリスマスをお祝いすることができました。前夜の礼拝では、オルガニスト会による様々な楽器を用いた降臨節・降誕日の聖歌がキャンドルのやさしく灯る祈りの時間に彩が加えられました。また、マリア会、有志によるクリスマスプレセントのコースター&ティーセットや手作りお菓子もみんなの心を祝いの喜びで満たしてくれました。メリークリスマス!

▽紋別聖マリヤ教会

一二月に入り、やや雪が少

なく気温が高い日が続いていました。四日は聖餐式、一日・一八日はみ言葉の礼拝。

二五日の降誕日礼拝の準備を進めていく最中、二三日に発生した暴風雪による大規模停電。紋別市内全域・隣接地域は闇に包まれました。発生から約一八時間後の翌二四日の午前九時頃に全面復電するも、翌二五日午前七時頃、再び大規模停電。復旧の見通しがつかないため、降誕日礼拝は中止になりました。

▽有珠聖公会

一二月一〇日、今年で八回目を迎えるクリスマスコンサートが、三年ぶりに開かれました。今回は、元N響のバ

イオリニスト齋藤真知亜さん、齋藤律子さん夫妻による二つのバイオリンの響きを聞きました。会場には、ご夫婦、子ども連れのご家族など一五〇人の方が詰めかけ、玄関まで溢れました。

二五日、降誕日。キャンドルの光の中で、四〇名の会衆がカコロを歌い、祈りを捧げました。礼拝後は、お茶とお菓子で、パーティーを楽しみました。

した。

▽留萌キリスト教会

吹雪が多くても積雪が少なくて大助かりの一二月。本間初美さん(岩見沢聖十字教会)は留萌の実家に滞在して、市内で入院中の姉妹の快復を祈っておられます。クリスマスはイブのキャン

ドル礼拝や祝会を行う体力に不安があり、悪天候の場合夜の外出は一層困難があります。主日が降誕日と重なる幸いに感謝して、二五日の降誕日を精一杯お祝いしました。六名の出席でした。お昼の天井は持ち帰り、出席が困難な信徒にもお届けして共に分かち合いました。

▽室蘭聖マタイ教会

一二月一日、松井司祭来会し、聖餐を受ける。いつもリュックを背負い電車で来会し感謝です。

クリスマス前の平日に田中勇ご夫妻が教会内を掃除してくださり感謝。二五日、松井司祭来会し、三時より主のご降誕を祝い聖餐を受ける。東京より平姉の娘さんの福

島姉も来られ共に祈る。

礼拝後全員で写真撮る。

植松主教様と斉藤篤兄(斉藤司祭の長男)よりクリスマス献金送られて来て感謝と共に捧げる。コロナが増えたので、すし、ケーキ、ミカン等家に持ち帰り食す。感謝。

▽今金インマヌエル教会

今年も沢山の皆様に感謝で終わろうとしています。上平司祭、夕食に唯一開いてたラーメン屋：残念でした。美味いお店今度行きましょう。大町司祭御夫妻、複数の礼拝をされてからの来教、恐縮です。道民割使える所もある筈です。たぶん。笹森主教様、御多忙な中での来教有り難うございました。来年はもっと沢山牛乳を用意しますね。藤井司祭と直さん、クリスマスと共に祝えなかったのは残念でしたが、体調を万全にされてまたお会い出来るのを楽しみにしています。メリークリスマス。

▽北見聖ヤコブ教会

笹森主教様が二月一日にご巡回くださったのですが「主教様と一緒に主のご降誕

をお祝いしたい」と何と一日にクリスマス礼拝をいたしました。プレゼント交換もして、せつないほどにあたたかなクリスマスでした。

一三日は加藤忠嗣さんの納骨式が執り行われ、ご長男の忠生さんと町内会の竹澤さんが参列されました。

二六日は一日かけてあちこちの除雪。夜は地主さんに感謝の品を届け、二七日は隣地駐車場の除雪をしました。水落しも始まった北見です。

▽網走聖ヘテロ教会

教会の一年の歩みも沢山の恵み、時に思いもよらない出来事、その中でも主の御守りと導きを感じました。一日主教様二回目の巡回日、お連れ合い様も来られ礼拝を捧げました。一本一本灯るロソクの灯火に御降誕の深い意味を改めて覚えました。二五日は主のお誕生のお祝い、教会委員選出、持ち寄りの食事、ゲーム、ピアノ演奏、教会の一年の歩みのフィルムなど、コロナ禍でまだ心配もある

二月でしたが、一人一人の思い、子ども達の声は、心の

光をくださったと感謝でいっぱいでした。

▽苫小牧聖ルカ教会

今月も、聖堂を開放しての礼拝です。六教会で、クリスマスカードを作る集まりは、三年続けて中止となりました。一日、リースやイルミネーションの飾り付けが行われました。

一〇日から安宅久美子姉のオカリナ演奏が聞かれるようになり、礼拝の楽しみが増えました。集会室は閑散としていた昨今ですが、松井司祭のお部屋には、ぬくもりが感じられ、感謝です。

街角に、鹿が見られるようになりました。

▽新冠聖フランシス教会

二〇二二年の最後の礼拝が二月二十五日、イエスさま降誕日と重なり、朝早く平取からおいでの内海司祭の「クリスマスおめでとうございます」の声に迎えられました。

ここ数年コロナ対策のため礼拝後の会食は自粛しておりますが、来るべき年も主の御手の内に歩むことができますようにお祈りしました。用意

されていたプレゼントと差し入れのお菓子を袋に詰め、礼拝に来られなかった方々にもお届けする事ができました。

最後に恒例の記念写真におさまり「皆さん良いお年をお迎え下さい」と教会を後にする。感謝！

▽深川聖三一教会

一二月四日教会委員会、今年度の委員各位の奉仕に感謝。一〇日保育園のクリスマス会、たちまち習得した歌、おどりを園児たちは父母に披露。よくおぼえましたね、かわいい坊やお嬢さん。二二日保育園のクリスマス礼拝、献金を国境なき医師団へ贈る。

二四日イブ礼拝、三年ぶりの礼拝、よろこび集う。献金をキリスト教海外医療協力会へ贈る。

深川に過ぎたる宝三つ有り。一、高木鯨一氏製作の聖櫃、二、昔のランベス会議で北海道教区主教様の椅子、三、留萌聖公会の伊佐津富郎氏作の家庭祭壇なり、千年記憶に値いするものなり。

▽小樽聖公会

一二月一三日(火)、ヒル

ダ石田知世子さん逝去、八四年のご生涯。ご長男の意向で仏式にて葬儀が営まれる。僧侶は「我慢」することを生き他人と故人を偲ぶ。主の永遠の平安とみ光を祈る。

一二月二四日(土)、降誕日前夕聖餐式。吹雪の中、それでも、いつものメンバーが集い、礼拝をおささげする。コロナ対策のため、基本、聖歌を歌うことを控える。但し恒例のバイオリンとオルガンの演奏あり。「きよしこの夜」を最後、共に歌う。美しいバイオリンの音と歌声が聖夜に響く。

お知らせ

主教被選者司祭フランシス長谷川清純師の主教授手式および日本聖公会東北教区主教就任式が下記のとおり行われます。

皆さまのご加禱をお願い致します。

日時 2023年4月22日(土) 10時
説教者 主教 マリア・グレイス 笹森田鶴
場所 日本聖公会東北教区主教座聖堂
仙台基督教会